

ワークショップ

■日時：11月24日(水) 9:30～10:42

■会場：第3会場(グランドプリンスホテル高輪B1Fロイヤルルーム)

WS1 感染機構

座長 鈴 伸也

(熊本大学エイズ学研究センター)

増田貴夫

(東京医科大学大学院医歯学総合研究科)

WS1-001 HIV粒子・ゲノムRNAの成熟ステップと感染能獲得との相関

櫻木淳一¹⁾、大石真久¹⁾、中野隆史²⁾、
櫻木小百合¹⁾、佐野浩一²⁾、塩田達雄¹⁾

1) 大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野
2) 大阪医科大学微生物学教室

WS1-002 Nano-imaging of CXCR4 and CXCL12 cell surface binding utilizing single molecular microscopy

Roy Chandra Nath^{1,2)}、今村淳治³⁾、
権田幸祐⁴⁾、大内憲明⁴⁾、鈴木康弘¹⁾

1) 東北大学大学院医学系研究科感染病態学講座
2) 財団法人エイズ予防財団
3) 国立病院機構名古屋医療センター
4) 東北大学大学院医学系研究科ナノ医科学寄付講座

WS1-003 Reorganization of microtubules leads to redistribution of intercellular organelles in cells which induce cell fusion by envelop protein

鈴木康弘¹⁾、Nath Roy Chandra^{1,2)}、
権田幸祐³⁾、大内憲明³⁾

1) 東北大学大学院医学系研究科感染病態学講座
2) 財団法人エイズ予防財団
3) 東北大学大学院医学系研究科ナノ医科学寄付講座

WS1-004 HIV-1由来新規antisense RNA, ALeはウイルス増殖を抑制する

小林美栄¹⁾、山岸 誠¹⁾、原 拓馬¹⁾、
松田有加¹⁾、三宅在子²⁾、中野和民¹⁾、
石田尚臣³⁾、渡邊俊樹¹⁾

1) 東京大学大学院新領域創成科学研究科メディカルゲノム専攻病態医療科学分野
2) 徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部微生物病原学分野
3) 早稲田大学先進理工学部生命医科学科

WS1-005 HIV-1増殖過程におけるインテグラーゼ(IN) C末端領域(CTD)の影響

三宅在子、土肥直哉、藤原佐知、足立昭夫、
野間口雅子

徳島大学大学院ヘルスバイオサイエンス研究部微生物病原学分野

WS1-006 HIV-1感染におけるCypAの機能の解析

竹村太地郎^{1,2)}、村上 努¹⁾、
Kewal Ramani Vineet²⁾

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
2) HIV Drug Resistance Program, National Cancer Institute, NIH

■日時：11月25日(木) 14:20～15:20

■会場：第4会場(グランドプリンスホテル高輪2F 桜花)

WS2 MSM

座長 岡島克樹

(大阪大谷大学人間社会学部)

WS2-007 沖縄県におけるMSMの性行動及び予防介入に関する調査分析

加藤 慶

横浜国立大学大学院環境情報研究院

WS2-008 福岡地域における男性同性間のHIV感染対策とその推進—CBO「Love Act Fukuoka (LAF)」の啓発活動の展開とコミュニティセンター hacoの有用性について—

牧園祐也^{1,2)}、請田貴史¹⁾、川本大輔¹⁾、
北村紀代子¹⁾、狭間隆司¹⁾、濱田史朗¹⁾、
橋口 卓¹⁾、山本政弘³⁾、井上 緑³⁾

1) Love Act Fukuoka (LAF) 2) 財団法人エイズ予防財団
3) 国立病院機構九州医療センター

WS2-009 MSMコミュニティセンター「かながわレインボーセンター SHIP」を利用する中高生の現状と課題

吉仲 崇^{1,2,3)}、星野慎二^{1,2)}、宮島謙介^{2,4)}、
長野 香²⁾

1) 横浜Cruiseネットワーク
2) かながわレインボーセンター SHIP
3) 横浜市立大学大学院国際総合科学研究科
4) しらかば診療所

ワークショップ

WS2-010 首都圏地域在住MSM (Men who have sex with men) における性行動と年齢層の関連

塩野徳史^{1,2)}、岩橋恒太^{2,3)}、市川誠一¹⁾、金子典代¹⁾、コーナジェーン^{1,2)}、生島 嗣³⁾、佐藤未光^{4,5)}、張由紀夫^{2,4)}、木南拓也^{2,4)}、砂川秀樹^{2,3)}、星野慎二⁶⁾、木村 哲²⁾、岡 慎一⁷⁾

1) 名古屋市立大学大学院看護学研究科
2) 財団法人エイズ予防財団
3) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
4) RainbowRing 5) ひかりクリニック
6) 横浜Criuseネットワーク 7) 国立国際医療センター

WS2-011 インターネット利用MSMを対象にした認知行動理論によるオンラインHIV予防介入研究—第2報—プログラムの効果評価

本間隆之¹⁾、日高庸晴²⁾、古谷野淳子³⁾、橋本充代⁴⁾、品川由佳⁵⁾、横山葉子⁶⁾、山崎浩司⁷⁾、木村博和⁸⁾

1) 山梨県立大学看護学部 2) 宝塚大学看護学部
3) 新潟大学歯学部総合病院 4) 獨協医科大学医学部
5) 広島大学大学院教育学研究科
6) 京都大学大学院医学研究科
7) 東京大学人文科学研究科 8) 横浜市健康福祉局

■日時：11月25日(木) 15:20～16:08

■会場：第4会場(グランドプリンスホテル高輪 2F 桜花)

WS3 パートナーへの通知と支援

座長 池上千寿子

(特定非営利活動法人ぶれいす東京)

高久陽介

(特定非営利活動法人日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス/財団法人エイズ予防財団リサーチレジデント)

WS3-012 保健所等公設検査機関におけるパートナー健診の現況

中瀬克己¹⁾、今井光信^{2,3)}、佐野貴子³⁾

1) 岡山市保健所 2) 田園調布学園大学
3) 神奈川県衛生研究所

WS3-013 新規HIV感染者の性的接触者に対するHIV抗体検査受検に関する調査(その1)

山田由紀、武田謙治、徐 廷美、島田 恵、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター

WS3-014 新規HIV感染者の性的接触者に対するHIV抗体検査受検に関する調査(その2)

徐 廷美、武田謙治、山田由紀、池田和子、島田 恵、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター

WS3-015 「HIV陽性者やその周囲の人への相談サービス」についての分析—パートナーからの相談について—

福原寿弥¹⁾、牧原信也¹⁾、神原奈緒美¹⁾、大槻知子^{1,2)}、生島 嗣¹⁾、池上千寿子¹⁾

1) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
2) 財団法人エイズ予防財団

■日時：11月25日(木) 15:32～16:32

■会場：第5会場(ザ・プリンスさくらタワー東京 2F N-1～5)

WS4 最近の話題

座長 高橋昌明

(国立病院機構名古屋医療センター薬剤科)

長谷川直樹

(慶應義塾大学病院感染制御センター)

WS4-016 HIV感染者における2009パンデミックインフルエンザ(H1N1)ワクチン接種後の中和抗体価の推移

菊地 正¹⁾、堀本研子²⁾、藤井 毅¹⁾、安達英輔¹⁾、今井健太郎¹⁾、清水少一¹⁾、古賀道子³⁾、中村仁美³⁾、鯉淵智彦¹⁾、立川 愛³⁾、三浦聡之³⁾、河岡義裕²⁾、岩本愛吉^{1,3)}

1) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
2) 東京大学医科学研究所ウイルス感染分野
3) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野

WS4-017 HIV感染者におけるHelicobacter pylori罹患状況の解析

矢崎博久、濱田洋平、橋本亜希、水島大輔、青木孝弘、西島 健、渡辺恒二、本田元人、塚田訓久、田沼順子、本田美和子、湯永博之、照屋勝治、菊池 嘉、岡 慎一

独立行政法人国立国際医療研究センターエイズ治療研究開発センター

WS4-018 しらかば診療所に通院するHIV陽性者における肛門癌スクリーニングの施行状況について

井戸田一朗

しらかば診療所

WS4-019 2003～2009年の新規HIV/AIDS診断症例における薬剤耐性頻度の動向

服部純子^{1,2)}、椎野禎一郎³⁾、潟永博之⁴⁾、
林田庸総⁴⁾、吉田 繁⁵⁾、千葉仁志⁵⁾、
小池隆夫⁵⁾、佐々木悟⁶⁾、伊藤俊広⁶⁾、
内田和江⁷⁾、原 孝⁸⁾、佐藤武幸⁹⁾、
上田敦久¹⁰⁾、石ヶ坪良明¹⁰⁾、近藤真規子¹¹⁾、
今井光信^{11,12)}、長島真美¹³⁾、貞升健志¹³⁾、
古賀一郎¹⁴⁾、太田康男¹⁴⁾、山元泰之¹⁵⁾、
福武勝幸¹⁵⁾、加藤真吾¹⁶⁾、藤井 毅¹⁷⁾、
岩本愛吉¹⁷⁾、西澤雅子³⁾、仲宗根正³⁾、
岡 慎一⁴⁾、伊部史朗¹⁾、横幕能行¹⁾、
上田幹夫¹⁸⁾、大家正義¹⁹⁾、田邊嘉也¹⁹⁾、
渡辺香奈子²⁰⁾、渡邊 大²¹⁾、白阪琢磨²¹⁾、
小島洋子²²⁾、森 治代²²⁾、中桐逸博²³⁾、
高田 昇²⁴⁾、木村昭郎²⁴⁾、南 留美²⁵⁾、
山本政弘²⁵⁾、松下修三²⁶⁾、藤田次郎²⁷⁾、
健山正男²⁷⁾、杉浦 互^{1,3)}

1) (独)名古屋医療センター 2) エイズ予防財団
3) 国立感染症研究所 4) 国立国際医療研究センター
5) 北海道大学 6) (独) 仙台医療センター
7) 埼玉県衛生研究所 8) 茨城県衛生研究所
9) 千葉大学 10) 横浜市立大学
11) 神奈川県衛生研究所 12) 田園調布学園大学
13) 東京都健康安全研究センター 14) 帝京大学
15) 東京医科大学 16) 慶應義塾大学
17) 東京大学医科学研究所 18) 石川県立中央病院
19) 新潟大学 20) 新潟県保健環境科学研究所
21) (独) 大阪医療センター 22) 大阪府立公衆衛生研究所
23) 川崎医科大学 24) 広島大学病院
25) (独) 九州医療センター 26) 熊本大学 27) 琉球大学

WS4-020 LC-MS/MSを用いた毛髪中および血液中の抗HIV剤の定量

須藤弘二、加藤真吾

慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室

■日時：11月25日(木) 14:20～15:32

■会場：第6会場(ザ・プリンスさくらタワー東京2F N-6～10)

WS5 薬剤耐性

座長 松岡雅雄

(京都大学ウイルス研究所)

横幕能行

(独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
エイズ治療開発センター)

WS5-021 CRF01_AE HIV-1の逆転写酵素 polymorphisms G335D・A371Vの NRTI感受性への影響

田沼順子、蜂谷敦子、潟永博之、菊池 嘉、
岡 慎一

国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

WS5-022 Mechanism of the Emergence of HIV-1 Variants Highly Resistant to Darunavir

Danish Matthew¹⁾、Manabu Aoki¹⁾、
Shafer Robert²⁾、Hiroaki Mitsuya¹⁾

1) Depts. of Hematology and Infectious Diseases,
Kumamoto Univ. School of Medicine, Kumamoto, Japan
2) Division of Infectious Diseases, Stanford University
Medical Center, Stanford, CA, USA

WS5-023 Tipranavir耐性HIVはプロテアーゼ二量体化阻止能と酵素活性阻止能の双方を喪失している

青木 学^{1,2)}、井手一彦²⁾、
Matthew L. Danish²⁾、満屋裕明^{2,3)}

1) 熊本保健科学大学
2) 熊本大学大学院生命科学研究部・血液内科学・感染免疫
診療部
3) 米国国立癌研究所・レトロウイルス感染症部

WS5-024 HIV-1 capsid蛋白(CA)の挿入変異とCA自壊の分子機構の解明

天野将之、田宮貞宏、こう康博、
Danish Matthew、満屋裕明

熊本大学大学院生命科学研究部・血液内科学・感染免疫診療部

WS5-025 CCR5阻害剤maraviroc (MVC) 耐性誘導によるEnvの変異が中和抗体感受性に及ぼす影響

吉村和久、原田恵嘉、濱治有希、松下修三

熊本大学エイズ学研究センター

WS5-026 ラルテグラビルはHIV-1のin vitro馴化におけるEnv選択に影響する

原田恵嘉、濱治有希、松下修三、吉村和久

熊本大学エイズ学研究センター